



はなみずき

成生小学校だより
令和6年1月25日
第10号
校長 飯田 真理子



気持ちも新たにスタート!

令和5年度のまとめ、
そして令和6年の始まりです

3学期は49日間。すでに13日間を過ぎたので今年度はあと36日間です。年が明けた新鮮な気持ちと同時に、一年間のまとめとなるためか、時間の進みがとても早く感じます。

子供たちは、進学・進級を意識しながら、自分の成長を確実なものにしようと日々コツコツと努力し、次のステージへの歩みを進めています。

保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



「こんな力を伸ばしたい」《めあて発表朝会》

【2年児童のめあてより】

- ◆ ぼくは、3学期がんばりたいことが2つあります。
1つ目は人の話を心で聞くことです。先生や友達の話をしっかりと聞くことによって、話が頭にきちんと入ってくるからです。次の行動を素早く行いたいです。

2つ目は、自分から挨拶することです。ぼくは、朝に通学班の人と歩いてくるときの挨拶が小さい声なので、大きな声で挨拶をしたいです。3学期は、1年間のまとめの時期なので、3年生に向けて2年生の復習をしっかりと行いたいです。



【6年児童のめあてより抜粋】

- ◆ 私は、49日間の3学期を中学生の0学期として取り組んでいきたいと思います。そのために「人間性」を高めていきたいです。その中で特に「意識したい」「頑張りたい」ことは2つあります。

1つ目は、「努力を続ける」ことです。最初から何でもうまくできる人はいないと思います。できるようになるためには、1つ1つの小さな努力を積み重ねて、続けていくことが大切です。私にはその力がまだ足りていないと感じます。なぜ続けることができるのかを考えたときに、「難しい」や「できない」という弱い気持ちがあるからだと思います。そのような気持ちがあると、努力を続けるのが辛くなり、諦めてしまいます。だから、「楽しい」と思えるように取り組み方を変えたり工夫したりすることで、やっていて「やったかいがある」と思えるようにしたいと思います。そして、それを続けていくことで「努力を続けること」を身に付けたいと思いました。

2つ目は、「誰にでも挨拶する」ことです。挨拶は初対面の人にとって、第一印象になります。私は、挨拶から相手の印象が異なる経験をしたので紹介します。～中略～ 一人一人が声を出し挨拶しているチームはすごくカッコいいし、「強そうだな」と感じます。一方で一部の人しか言っていなかったり、ハキハキ言っていなかったりするチームは、戦っていなくても弱いと感じます。～中略～ 一人でも、チームでも、何人でもしっかりと声を出して、自分の思う挨拶をしていきたいです。～後略～



「野球しようぜ！」 *大谷選手からの贈り物が届きました*

昨年末から、続々と全国の小学校に届けられたグローブ。(天童にはまだかなあ?)と、心待ちにしていた子供たち。新年になりようやく3つのグローブとお手紙が届きました。

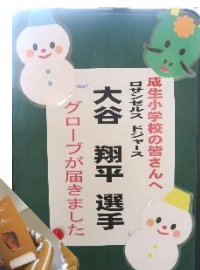
「～私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。～
野球しようぜ! 大谷 翔平」

大・小・左利き用のグローブ。まずは代表児童に贈呈し、現在は各教室をまわっています。夢をもつことの素晴らしさと、ひたむきに努力し、その努力すら楽しんでいる姿に、多くの人々が憧れます。



なぜこれほどまで世界中の人々に、大谷選手の言動が賞賛されるのか。それは、プレーが素晴らしいだけでなく、その「人間性」が基盤にあっての結果や言動であるからこそです。(自分さえよければ)とか、(人に意地悪をして、ルールを破ってでも勝つ)などは、人として認められるはずがありません。

始業式では、大谷選手と成生小を卒業した2人の先輩について話をしました。3人も、夢をもち、自分で決めた目標に向かってコツコツと努力を重ねていること。その努力を楽しんでいること。そして何より、決して人に意地悪をしたり、迷惑をかけた、ましてやいじめをしたりなどということをしなかったことを伝えました。



災害に備える

1月1日の石川県能登半島地震・飛行機事故。年が明けて早々の災害・事故に心痛める毎日です。一瞬にしてたくさんの命が奪われ、自然の猛威の前では、人間はなすすべもありません。今も避難生活を余儀なくされている皆様には、心からお見舞い申し上げます。

私たちにできることは、まず報道等でその現状を知ること。そして自分事として、災害についての備えを再確認することです。学校でも、火事や地震等について年間計画を立てて「避難訓練」を実施しています。この「訓練」こそが、いざという時に自分の命を守ることに繋がります。津波から地区民全員が助かったことや乗客全員が脱出できたことは、「奇跡ではなく『訓練』があったから」と断言されています。



2月の主な行事

2日(金) 授業参観・学校経営説明会・学級懇談会

9日(金) 新入生一日入学・保護者説明会

29日(木) 6年生を送る会